

V. 環境

基本原則

○環境に配慮した事業活動を展開する。

○環境情報を提供する。

(基本原則に関する参考事例)

➤ 「環境理念」「環境基本方針」の制定。

1. 消費者・顧客

	主要項目	参考事例
環境負荷低減のための製品・サービスの開発と提供	➤ 各種再生材や自然循環可能材の開発、有効利用を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ➤ テレビのシャーシフレームや背面端子部に、再生材を約10%含有したプラスチックを採用（東芝） ➤ 輸送用ダンボールを「ディスプレイ兼用ダンボール」に変更（ユニ・チャーム）
	➤ 環境負荷の低減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 製造工場のゼロエミッション。 ➤ 土壌浄化技術の開発。 ➤ 排出ガスの低減、有害物質の削減、浄化。新型車の環境負荷物質低減（自動車業界） ➤ 投資用ビルを中心に環境に配慮したビルづくり（生命保険業界） ➤ 土壌の汚染浄化を促進する保険（土壌汚染保険、コストキャップ保険）、ESCO⁸事業の発展を支援するESCO総合保険、風力発電事業者向けに、風力の低下による収益減少を補償する保険を提供（損保ジャパン） ➤ 既存のビルについて、ESCO事業を活用する他、省エネ・緑化対応など環境に配慮した方針に基づき、不動産投資物件の新築・改修を実施（第一生命）

⁸ エネルギー効率改善スキームを包括的に提供するESCO（Energy Service Company）事業者向けの保険。個別にESCO事業毎にリスク分析、およびリスクマネジメントを行い、ESCO事業に係る財物リスク（導入する省エネ機器の破損等による損害）、賠償リスクに対する補償、ESCO事業者が保証したエネルギーコスト削減額が未達成であった場合の補償をオーダーメイドで提供。